

学校の沿革

明治	7年	創立「志学舎」と称する。
	23年	廃校
	25年	再開校 平石第二尋常小学校となる。
	28年	平石高等学校創立
	33年	平石第二尋常高等学校となる。
大正	35年	大暴風雨で北校舎倒壊（民家2棟を借り授業再開）
	36年	校舎復興
	40年	学校外構購入（植林）
	11年	校舎改築（9教室・使丁室・便所・運動場）
	昭和 9年	後援会組織できる。
	16年	河内郡平石村中央国民学校と改称
	22年	河内郡平石村立中央小学校と改称
	23年	PTA設立
	29年	宇都宮市立平石中央小学校と改称
	31年	通学区域変更 岡台・松原・桜ヶ丘・中久保・山下の一部が峰小学区域となる。
	32年	簡易水道施設を設備
	37年	給食室新築
	45年	ビニールプール竣工
	47年	校歌の碑完成 新校舎竣工
	50年	創立100周年記念式典挙行
平成	54年	新プール完成・竣工式
	56年	鬼怒中開校のため学区変更 市教委より「性教育」研究の指定を受ける。
	58年	性教育研究発表会
	4年	学校給食優良校として県教育長賞受賞
	5年	校舎新築のためプレハブ校舎で授業開始 旧校舎解体 新校舎建設工事開始
	6年	市教委より「性教育研究助成校」の指定を受ける。 創立120周年並びに校舎落成記念秋季大運動会実施 新校舎での授業開始
	7年	創立120周年並びに校舎落成記念式典 市教委より2年間の「性教育研究校」の指定を受ける。 県教委並びに市教委より「いきいき地域ぐるみ教育活動推進事業実施校」の指定を受ける。 優良こども銀行として大蔵大臣・日銀総裁表彰を受ける。 性教育研究発表会
	8年	性教育研究発表会
	10年	宇都宮市小学校教育研究会家庭部会会場として研究発表
	11年	うつのみやジュニア芸術祭学校音楽祭に全校鼓笛出場
	12年	宇都宮市小学校教育研究会全体研究会にて全校鼓笛が発表をする。 校内LAN完成 バーコードによる図書の出し入れ開始 宇都宮市小学校教育研究会情報・メディア部会会場として研究発表
	14年	門扉改修工事・昇降口バリアフリー工事完了・プール改修工事
	15年	ジャイカの学校訪問（13カ国）、フローリング工事（各教室等） 宇都宮市小学校教育研究会国語部会会場として研究発表 自炊炊飯開始 宇都宮市学校外環境賞！SO認定
	16年	創立130周年記念式典
	17年	体育館放送設備の改修
	19年	宇都宮市小学校教育研究会学級経営部会会場として研究発表 下水道工事完了（浄化槽撤去）
	21年	空席設備の設置・運転開始 大型デジタルテレビ設置
	22年	体育館耐震工事
	23年	放課後子ども教室発足
	24年	第49回中央研究大会宇都宮大会算数部会会場として研究発表
	26年	創立140周年記念航空写真撮影
	27年	子どもの家設置 宇小教研情報メディア部会会場として研究発表
	28年	かがやきルーム新設
	令和 元年	校庭南側拡張工事完了
	2年	校舎北側工事完了
	3年	校舎2階トイレ改修工事完了
	4年	体育館長寿命化改修工事完了
	5年	体育館・給食室空調設備の設置
	6年	創立150周年記念式典

令和7年度学校経営計画

1 教育目標

- (1) 基本目標
豊かな人間性と創造力を持ち、自主的精神に満ち、心身共にたくましく、実践力のある児童を育成する。
- (2) 具体目標（目指す児童像）
 - ・明るく元気できたえる子（鍛える）
 - ・おちついてよく考える子（考える）
 - ・みんな仲よくきまりを守る子（思いやる）
 - ・ねばり強くやりとげる子（実行する）

2 学校経営の理念

「児童が行きたい、保護者が通わせたい、教職員が勤めたい学校づくり」
小規模校ならではの、児童一人一人へのきめ細かな対応を基盤に、児童が生き生きと自分らしさを発揮できる安心・安全な学校、家庭や地域からの信頼をもとにした地域とともにある学校、教職員が専門性を生かし自分の力を十分に発揮できる学校づくりを推進し、学校教育目標の具現化を目指す。

3 学校経営の方針

- 「小学校学習指導要領」「栃木県教育振興基本計画2025」「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」等に基づき、児童の実態を踏まえるとともに、家庭や地域との協働を進めるなど特色ある教育活動を推進する。
- (1) 児童が安心して楽しく通える学校づくりを進めるため、互いのよさを認め励まし合う雰囲気醸成するなど、人権尊重の教育を基盤とした安心安全な学校づくりに努める。
 - (2) 明るく元気できたえる子の育成に向け、体力の向上と望ましい食習慣の形成、そして安全教育の充実に努める。
 - (3) 落ち着いてよく考える子の育成に向け、児童の学ぶ意欲の向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実に努める。
 - (4) みんな仲良くきまりを守る子の育成に向け、基本的な生活習慣を身に付ける指導の充実と、豊かな人間関係を築く教育活動の推進に努める。
 - (5) ねばり強くやりとげる子の育成に向け、児童の自己肯定感を育むとともに、成功体験を繰り返せる環境づくりを推進し、未来を生き抜く力の醸成に努める。
 - (6) 家庭・地域・関係機関と連携、協働を推進し、社会に開かれた教育課程の視点から、地域の教育力を生かした地域とともにある学校づくりに努める。
 - (7) 教職員が高い使命感や、やりがいをもって勤務し、質の高い教育を行うため、業務の効率化を図るとともに、勤務時間の適正化に努める。
 - (8) 鬼怒地域学校園の教育ビジョンを達成するため、地区内小中学校との情報共有、及び共通実践を通して、小中連携の一層の充実に努める。
【鬼怒地域学校園教育ビジョン】
自分できよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成

4 教育課程編成の方針

- (1) 関係法令、並びに小学校学習指導要領、県や市教育委員会の指導方針、学校経営方針等に基づき、児童や地域の実態を十分に踏まえ、家庭・地域との連携・協働による「社会に開かれた教育課程」を編成する。
- (2) 体験活動を重視した特色ある教育活動を実践するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、教科横断的な学習、及び探究的な学習の充実を図るなど、児童の知・徳・体バランスの取れた「生きる力」を育む教育課程を編成する。
- (3) 鬼怒地域学校園の各校との連携を図り、小中一貫教育の趣旨を踏まえた教育課程を編成する。

5 令和7年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に〇）

- (1) 学校運営
児童が行きたい、保護者が通わせたい、教職員が勤めたい学校づくりを実践するため、学校の組織力を高めるとともに、家庭や地域との連携・協働による特色ある教育活動を展開し、地域とともにある学校づくりを推進する。
 - 児童が安心して通える、魅力あふれる安全な学校づくり
 - 児童の学力向上を目指す学校づくり
 - 児童の自己肯定感を育成する学校づくり
 - ・ PTAや地域協議会との連携強化による、地域学校協働活動のより一層の充実
 - ・ 業務の効率化と勤務時間の適正化等を図るための風通しの良い職場環境づくり
- (2) 学習指導
 - 自他のよさを認め合い、思いや願いを大切にできる子どもの育成
- (3) 児童生徒指導
 - 夢に向かって、粘り強く取り組む児童の育成
 - ー 家庭と連携し、児童の自己肯定感を育む取組の推進 ー
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
 - 自らの心身の健康に関心を持ち、進んで健康・安全な生活をしようとする児童の育成

学校の様子



読み聞かせ



全校給食



伝統の鼓笛隊



高学年の表現運動



ひらおう音頭



食農体験



さつまいもの苗植え



魅力協による「焼きいもの会」



幼稚園との交流



むかしあそび集会



ライトラインを利用した校外学習



感謝の会



LRT 基地見学

平石中央小学校への学区外通学

宇都宮市教育委員会は、平石中央小学校への学区外通学を次の場合に限り認めています。
①隣接校との通学区域弾力化（石井小、陽東小学区にお住まいの方が対象）
②LRTを利用した通学区域弾力化（平石中央小学校までの通学時間が、LRTを利用して片道1時間程度内である方が対象 ※令和6年4月から）
本校は少人数の特性を生かし、個に応じたきめ細かな学習指導を行っているほか、異学年の交流活動などに、積極的に取り組んでいます。学区外通学をお考えの方で、学校の様子をご覧になりたい場合は、事前にご連絡ください。

児童数

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5・6 年	合 計
数	1 5	1 7	1 7	1 2	1 3	7 4

職員紹介

校長	上岡 真澄	主 事	大久保あゆみ
副校長	小栗 則子	養護教諭	織田 千春
教務主任	稲川 知美		(保健主事)
1年担任	鈴木 亜弥	複式学級担当	江川みどり
	(児童指導主任)	特別支援教室担当	皆川 典子
2年担任	大野 祥乃	学校図書館司書業務	大木 有紀
3年担任	神野 涼太	学校栄養士業務	高橋 貴絵
4年担任	柳 香	学校業務	青柳 幸一
5・6年担任	高橋 美則	教員業務支援業務	廣瀬 典恵
	(学習指導主任)		

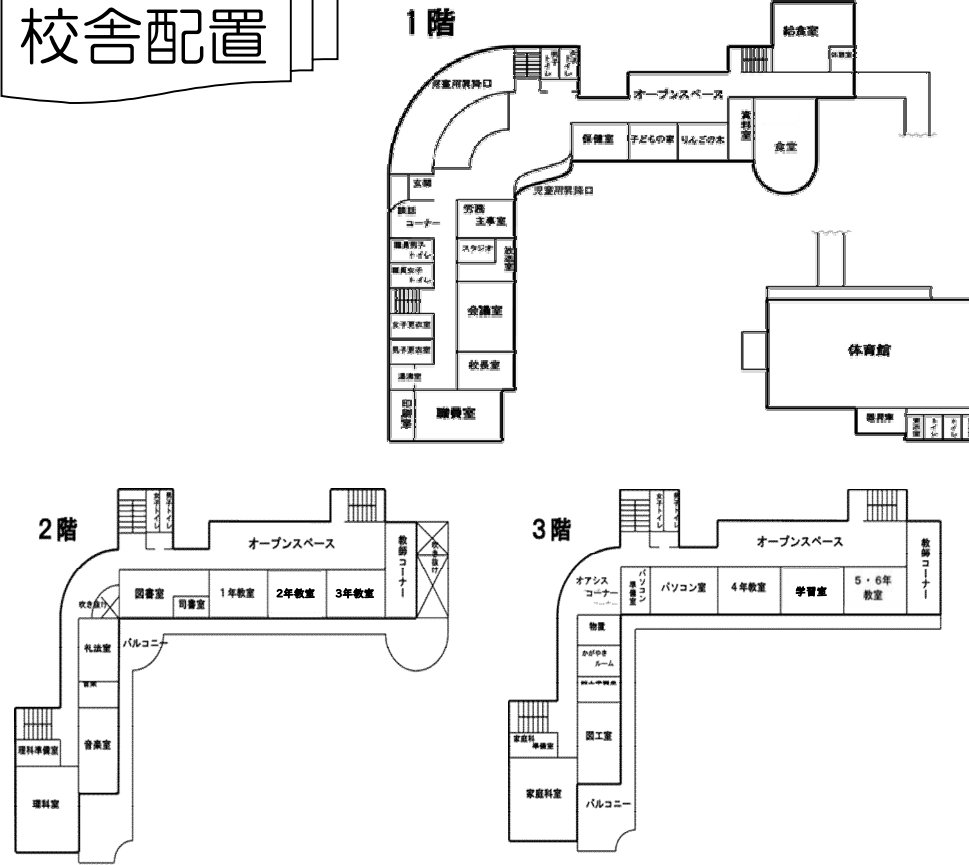
校医等紹介

内科	井上 博一	歯科	笠倉 正隆
耳鼻科	加治 恵子	薬剤師	山口 昌宏
眼科	宮下 博行		

歷代校長

歴代	氏 名	歴代	氏 名	歴代	氏 名
初 代	安田 治良	第16代	北村 照蔵	第31代	篠原 俊雄
第2代	大沢 光正	第17代	松本文一郎	第32代	島田 守将
第3代	岩田 万平	第18代	和田 勝己	第33代	谷島 利康
第4代	田中貞太郎	第19代	竹渕 政一	第34代	小泉 純一
第5代	森徳 次郎	第20代	小堀 倉蔵	第35代	山本 光子
第6代	福島多三郎	第21代	平田国三郎	第36代	齋藤 節男
第7代	増淵岩次郎	第22代	根本 典夫	第37代	大岡 久江
第8代	福島多三郎	第23代	小松 照雄	第38代	小島 靖宏
第9代	手塚庄五郎	第24代	金子 正訓	第39代	田所 徳光
第10代	町田 芳蔵	第25代	生田目善司	第40代	松本 良雄
第11代	堀井角三郎	第26代	宮沢 芳英	第41代	関山 英二
第12代	猪瀬 茂雄	第27代	平野 英三	第42代	角田 初男
第13代	菊池基四郎	第28代	手塚 昭二	第43代	長谷川昌弘
第14代	青木新三郎	第29代	田島 道子	第44代	高田 玄
第15代	小田 勝男	第30代	渡邊 俊男	第45代	上岡 真澄

校舍配置



校地総面積	13,486㎡	プール	375㎡
校舎総面積	3,862㎡	普通教室	6室381㎡
体育館	592㎡	特別教室	6室808㎡

校 歌

♩ = 96

平石中央小学校 校歌

作詞 新里宝三
作曲 鈴木満雄

♩ = 96

平石中央小学校 校歌

作詞 新里宝三
作曲 鈴木満雄



令和7年度

学 校 概 要



宇都宮市立平石中央小学校

所在地 宇都宮市下平出町479番地

電話 028-661-0309

FAX 028-660-0860

E-mail hirach-e@ueis.ed.jp



平央小 HP